

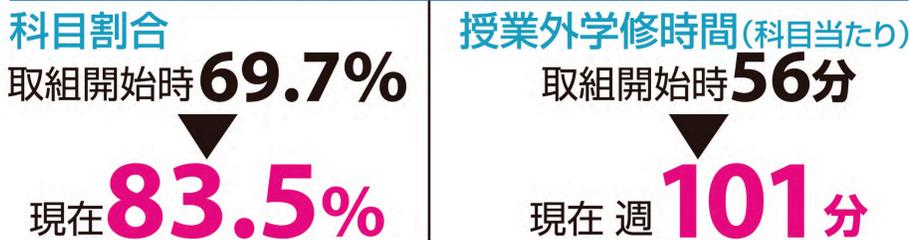
2つの相互評価による学修成果の可視化と改善

アクティブ・ラーニングの導入・普及

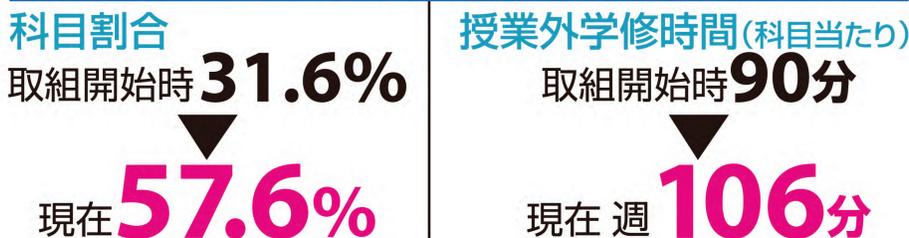
良質なAL科目=授授業アンケート結果において次の3条件を満たす科目

- (1) 授業外学習時間1時間以上
- (2) 授業理解度80%
- (3) 能動的な学習機会を認識した割合80%

何らかのALが行われている



良質なALが行われている



学修成果の可視化

相互評価①

学生自身が行う、ルーブリック評価を含む振り返りによる自己評価

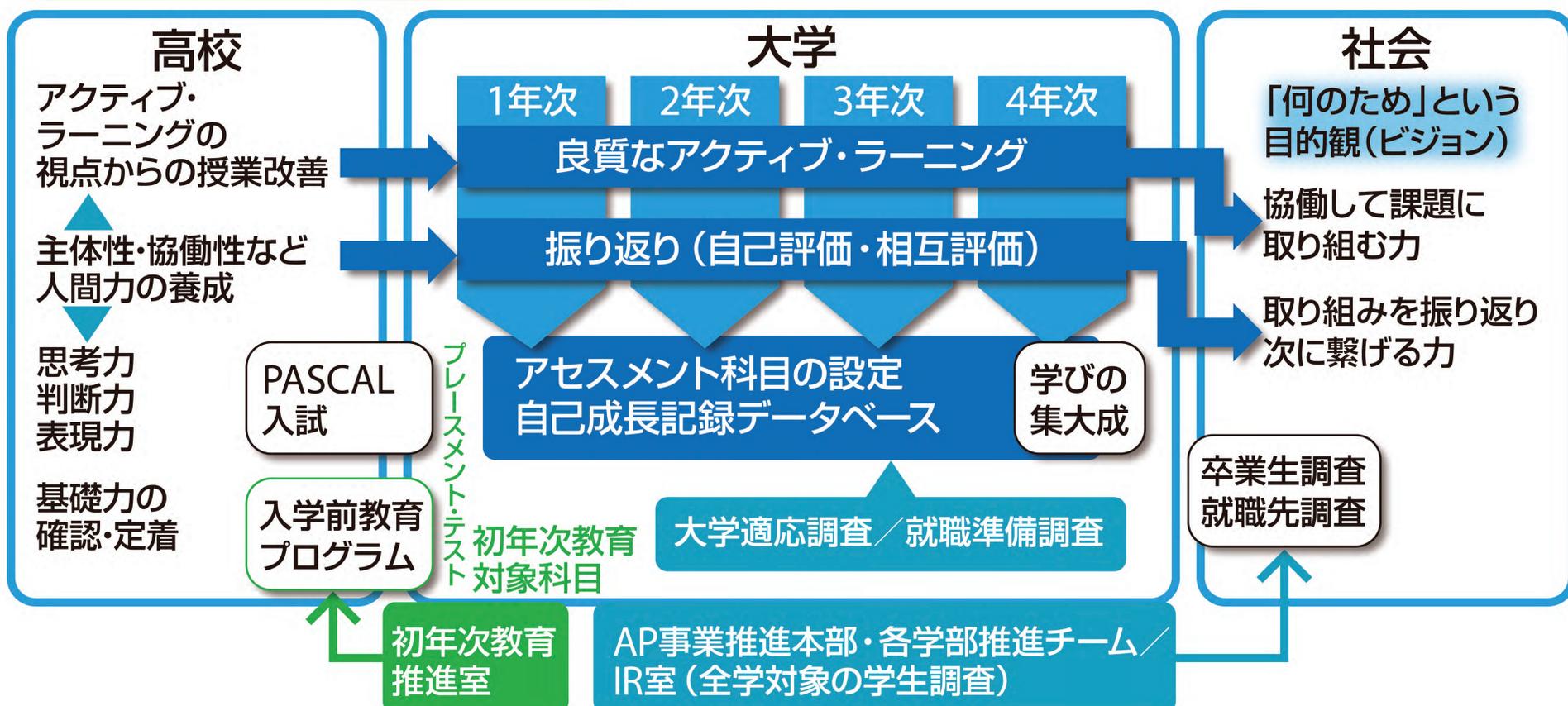
相互評価②

学生たちの自己評価を踏まえた、教員たちの改善検討会(同僚会議)

2019年度現在 年**20セッション** 延べ**100名以上**参加
ALのための授業設計研修参加率95% 同僚会議ファシリテーター30名

取り組み概念図

入口(入学)から出口(卒業)まで質保証の伴った大学教育



事業の波及効果

- 教員間の意思疎通・相互理解促進に向けた同僚会議の常態化(看護学部)
- 新任教員研修へのPASS(学生による授業改善情報収集サービス)利用(全学FD/SD委員会)